



吹奏楽曲と合唱曲で朝日作曲賞をダブル受賞
作曲家 山内雅弘さん

狭山の元気 発見

躍

いきいき狭山人
ひと

東京学芸大学の助教授として後進の指導を行う山内さん。これまで多くの曲を作曲してきました

こだわりを持って細部まで、完成度を高めたい

目指すのは聴く人の心を動かす旋律

全国の中・高・大学生や一般の方などの演奏団体がしのぎを削る、高校野球で言えば甲子園のような全日本合唱コンクールと全日本吹奏楽コンクール。これらのコンクールは、課題曲と自由曲で頂点を目指しますが、その課題曲の一つは公募から選ばれます。吹奏楽曲118曲、合唱曲56曲の中から最優秀賞にあたる、第16回朝日作曲賞を受賞したのが、人間川在住の山内雅弘さん。初めて同じ年に二つの朝日作曲賞を受賞する、快挙を成し遂げた作曲家です。

山内さんが今回、吹奏楽曲として書いたのが、架空の伝説のための前奏曲「合唱曲が混声合唱組曲 子どもの肖像」です。多くの演奏団体が、コンクールに向けてこの2曲を練習します。「私の曲が、全国の人に演奏してもらえるのが何よりもうれしいです。皆さんの記憶に残る1曲になるといいのですが」と照れながら語ってくれました。

山内さんが初めて音楽と出会ったのは、ピアノを習い始めた4歳のころ。レッスンを続けながら、少しずつ音楽に慣れ親しんでいきました。そんな山内さんに転機が訪れたのは、自宅にステレオがやって来た9歳のとき。そのステレオでクラシック音楽を聴いて、その曲が単純にいい曲だと思っただけでなく、「なぜこの曲は自分を感動させるのだろう。この曲はどういう仕組みになっているのだろう」と思ったそうです。そしてその好奇心から、小学3年生にしてオーケストラのスコア（楽譜）を読み始め、交響曲を書き始めました。「スコアを見ていると作曲者の気持ちまでわかるような気がしました。私はその曲をピアノで弾くよりも、自分で曲を書いてみたいと思います」と言う山内さん。「才能という言葉は好きではありませんが、もしそれが自分にあるとしたら、人と違うことに興味を持



完成までに約1か月を費やした吹奏楽曲

てたことでしょうか」と作曲家としての原点を振り返ります。

山内さんの曲作りへのこだわりは、細部まで完成度を高めること。ほとんど聴こえないような音でさえも、料理の隠し味のようにうまく効かせて音に深みを持たせるよう五線紙に向かいます。こうした作曲活動を続けるうえでうれしいのは、自分の作った作品が多くの方に共感してもらえたことです。寄せられる心援の言葉が、次の曲を作る原動力となります。

これからの目標は、「自分のスタイルを大切にしたい。自分しかできない表現方法を増やし、多くの人に感動を与えていきたいです」と秘めた熱い思いを語ってくれました。

「一人でも多くの方に音楽の素晴らしさを感じてもらいたい」と山内さん。芸術の秋皆さんも演奏会などに足を運び、音楽との接点を探してみませんか。



井花伸浩さん
(富士見在住)

市内の公共施設の名称の中には、第一環境センターや第二環境センター、児童館などのように、名前に番号を振って区別をしている施設が多くあります。しかし、実際に利用する市民の立場から見ると、施設名に番号が振ってあるだけですと、施設の所在地が分かりづらく、用事があるときなどは直接電話して

確認しなければなりません。東西南北などであれば、少し考えれば分かりますが、番号だけだと分かりづらいと感じます。広報さやまでは最近、児童館の名前の後に所在地を記載しているようですが、市の公式ホームページや公式モバイルサイトのほかの刊行物にも公共施設の名称を掲載する際は、問い合わせ

せをしなくても施設の場所が分かるような工夫をしてもらいたいと思います。

市の考え方
貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

広報課では今後、市の公式ホームページや公式モバイルサイトに公共施設の名称を掲載する

際は、その近くに住所を掲載するなど、施設の所在地が明確になるような工夫をしていくほか、広報さやまではより一層分かりやすい表記をしていきます。また、そのほかの刊行物に關しても、今後より理解しやすい表記をしていくよう全庁的に周知していきます。

担当 広報課

みんなが利用する公共施設 所在地が分かりやすくなる工夫をしてほしい



今年、消防署のご協力により、はしご車への試乗が行われましたが、とても人気が集まりましたため、試乗できない子どもが出るほどでした。関係機関や地域商店街、地域住民が一体となって開催した狭山台ふるさと祭り」が、地域住民の相互の連携を高める役割の一助にもなればと考え、そして、早くも来年に向けた計画に取り組んでいるところです。

うぐやす 市況

狭山地区自治会連合会

子ども達への夢を託した「狭山台ふるさと祭り」を、7月23日に行いました。狭山台中央公園をメイン会場に、さまざまなイベントや30を超える模擬店にぎわいを見せ、祭りの途中には早くも完売する模擬店が出るほどの盛況ぶりでした。

Assistant Language Teacher



Brett Cannon
ブレット・キャノン
(人間野中学校勤務)

オーストラリア出身
狭山市のALTとして勤務は2年め
趣味は旅行

Japanese people sometimes seem obsessed with food. Your television programs often center around cooking and eating. Whenever I go overseas, the first question I was often asked when I return is, "What was food like?" Of course, Japan has many unique and delicious foods. I am often asked about Australians foods, but the truth is, we have very few original foods. However Here are a few samples. Vegemite - Looks like chocolate, tastes like Miso. We spread it onto toast lots of butter. Pavlova - Meringue with whipped cream and strawberries or kiwi fruit. Lamingtons - Small squares of sponge cake soaked in jelly covered incoconut.

日本人は、非常に「食」への興味があるようです。日本のテレビ番組は、よく料理や食を特集します。私が海外へ行くといつも、帰ってから最初に聞かれる質問は、「食べ物はどうなものだった?」です。もちろん、日本にはユニークでおいしい食べ物がたくさんあります。でも私は、オーストラリアの食べ物について尋ねられます。実際は、オーストラリア独自の食べ物はあまりありませんが、いくつか独自の食べ物を紹介します。

ベジマイト...見た目はチョコレートで、味は味噌に似ていて、バターたっぷりのトーストに塗って食べます。パブロヴァ...ホイップクリームとイチゴがキュウイの入ったメレンゲです。ラミントン...熱い液状のゼリーにつけて、ココナッツで覆った小さなサイコロ状のスポンジケーキです。

(英文の要約)

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。
〒29546262代 Eメール koto@citysayamasaitama.jp